

## 立教大学 観光学部 佐野研究室

「都市・地域のライフサイクル研究」「観光による地域振興のあり方」「都市計画・観光政策の史的研究」を具体的な研究テーマとして、それぞれについて「理論」「実践」の両方の側面から、都市や地域の活力をいかに持続・発展させていくための道筋をどのようにつくっていくのかについて「都市計画」と「観光」の2つの視点から研究を行っている。

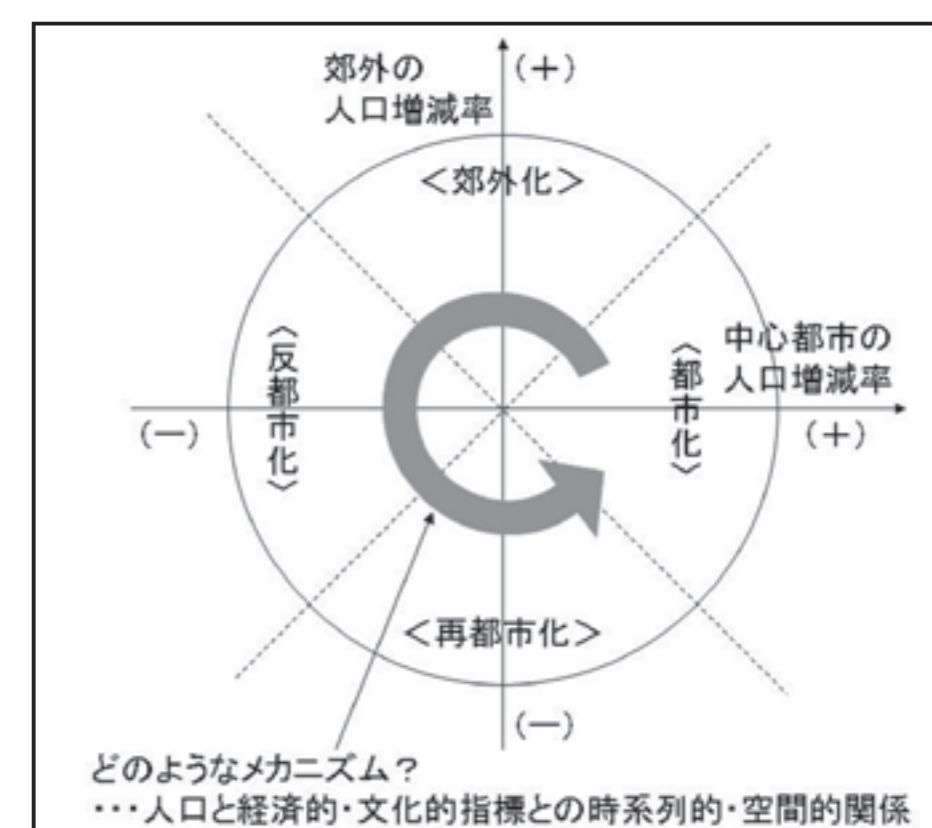
### 都市・地域のライフサイクル研究

- 都市や地域にはそれぞれ発展衰退段階(ライフサイクル)があり、それを明らかにすることで、はじめて、長期的な展望が描けるのではないかと考えている。

現在、**生活圏人口のライフサイクルを同定し、それに影響を与えた経済的・文化的諸要因について精査・分析し、都市・地域のライフサイクルのメカニズムの解明**を目指している。

- ・平成21年度国土政策関係研究支援「事業持続可能な『生活圏域』の設定に向けた臨界点の導出」(国土交通省)

#### 都市・地域のライフサイクル研究イメージ

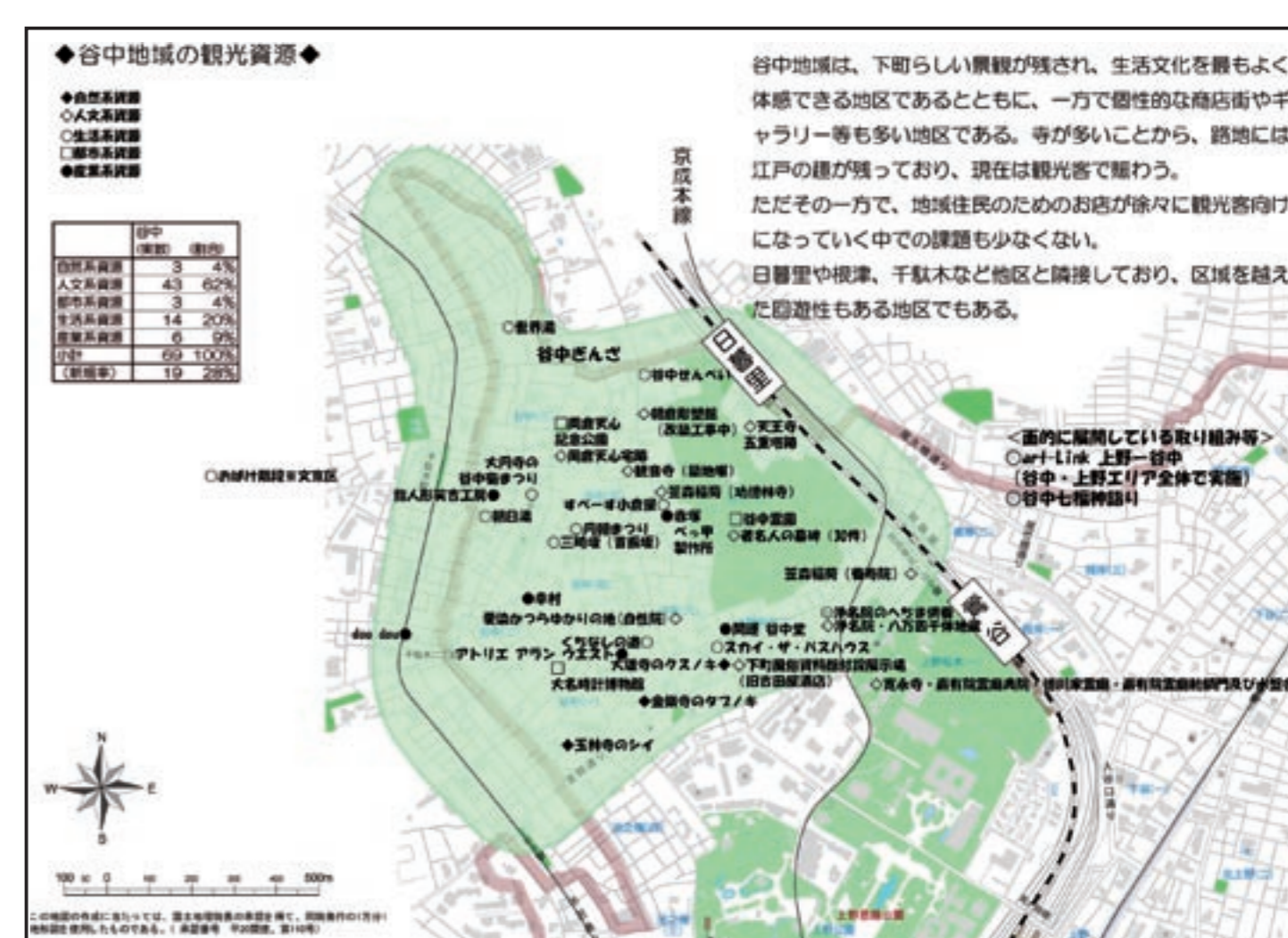


### 観光による地域振興のあり方

- 地域の人口が減少すれば、地域の活力は自ずと低下する。その対策としてよく取り上げられるのが、観光振興によって観光客(交流人口)を取り入れ、定住人口の減少をカバーするというもの。

しかし、一般に観光客の動向は、流行・災害・風評等に大きく影響を受け、変動が激しいもの。こうした**観光を、いかに安定的な地域経営へとブレークダウンさせることができるか、様々な角度から検証**している。

- ・台東区新観光ビジョン策定業務 (観光資源調査担当)
- ・A Study on Sustainable Development through Tourism in Rural Area - A Case Study in Iiyama City, 10th International Congress of Asian Planning Schools Association, 2009
- ・平成21年度科学研究費補助金 (基盤研究C) 「農村の新たな担い手の戦略的確保に向けたグリーンツーリズムに関する基礎的研究」



台東区観光資源マップ(谷中)

### 都市計画・観光政策の史的研究

- 「温故知新」といった言葉があるように、現在のように先が見えないような時代は、歴史に学ぶことも少なくない。**都市計画や観光の歴史を明らかにすることで、その本質が浮かび上がり、次の一手が見えてくる。**喫緊の課題に対してすぐに役立つという訳ではないが、長期的な展望を描くときには、非常に有効な手段である。

- ・「都市計画家・石川栄耀 都市探求の軌跡」(鹿島出版会)・都市計画遺産研究会 (日本都市計画学会共同研究組織)

### 研究者紹介



#### 佐野 浩祥 (観光学部観光学科 助教)

2006年9月 東京工業大学 情報理工学研究科 情報環境学専攻 博士課程修了 2009年4月より現職

#### 【主な著書・論文】

- ・『都市計画家・石川栄耀-都市探求の軌跡-』(共著、鹿島出版会、2009年)
- ・"A Study on Sustainable Development through Tourism in Rural Area - A Case Study in Iiyama City", (10th International Congress of Asian Planning Schools Association, 2009)